

2011. 8. 29

# 通年対策、補助金利用も

## 省エネ・節電対策提案を強化

ラックランド

スーパーなど店舗を中心に商空間の建築・内装・設備・メンテナンスを手掛けるラックランド（東京都新宿区、望月圭一郎社長）は、今夏の電力不足に対応した「省エネルギー・節電対策提案書」を作成、得意先店舗を中心に独自のノウハウをもとに、通年省エネ対策・瞬間最大電力削減対策の提案と実践サービ

スーパードレスを中

近年では08年開始の業務用エアコンのレンタルサービスや、店舗の消費電力をリアルタイムに見える化するシステム、昨年開発に着手し業界初の導入実績を持つ冷蔵ケース用LED棚下照明など、独自開発のアイテムとサービスも年々増えている。他社の省エネ機器と組み合わせるなど、節電効果を挙げってきた。

この夏は電力削減目標達成のために個別の問い合わせが急増。最大30%の省エネ効果を発揮する、冷凍機専用外付インバータ「LABシステム」の導入台数は今年に入って既に160台を超え、今後の施工待ちが64台にのぼっている。震災後にはエアコンレンタルサービスに関する問い合わせがネットを含め200件に迫る勢いだった。

今回、こうしたノウハウを「省エネルギー・節電対策提案書」にまとめ、トータルでの省エネ・節電対策サポートを積極的

提案内容は①屋根・外壁の遮熱断熱塗料の塗布 ②空調設備の省エネ・節電 ③冷凍機械設備の省エネ・節電 ④店舗照明の省エネの4つのポイントを中心とする他の独自の省エネ技術を網羅している。

得意分野の食品スーパーやコンビニ、飲食店チェーンだけでなく、工場・流通倉庫などの分野からの引き合いもあり、提案活動を活かした受注活動を強化する。導入コストを削減するために補助金を利用できるように、各種申請サポートも実施していく。また、同事業強化に向けエンジニアリング部門を新設し、今年の夏だけでなく通年対策としての提案内容も今後はさらに充実させていく考えである。

を開始した。

同社は、86年に開発した業界初の冷凍機専用外付インバータ「LABシステム」をはじめ、電力削減のための様々なノウハウを開発。それらを集大成した店舗の省エネルギー化「エコモデル」の概念のもとで、店舗規模に合わせた省エネ・CO2削減支援事業を推進してきた。

この夏は電力削減目標達成のために個別の問い合わせが急増。最大30%の省エネ効果を発揮する、冷凍機専用外付インバータ「LABシステム」の導入台数は今年に入って既に160台を超え、今後の施工待ちが64台にのぼっている。震災後にはエアコンレンタルサービスに関する問い合わせがネットを含め200件